

新型コロナウイルス ゲノム解析結果（2026年）

【目的】 新型コロナウイルスについて、石川県内の流行状況を把握するとともに、重篤度やワクチン効果などに影響を与える可能性がある変異株の出現を監視するために、遺伝子配列を解読し、ゲノム解析を行っています*。

※2023年5月8日～2025年4月6日は協力医療機関から提供された検体、2025年4月7日～は急性呼吸器感染症（ARI）の病原体定点から提出された検体のうち新型コロナウイルスが検出された検体を対象に解析を行っています。

【対象】 2026年に石川県内のARI病原体定点から提出された検体のうち、新型コロナウイルスが検出された2検体

【結果】 NB.1.8.1系統の亜系統が検出されました。

新型コロナウイルスゲノム解析結果（石川県 2026年）

受付月	（参考）親系統	Lineage	検出数
1	NB.1.8.1系統	RC.2系統	1
2	NB.1.8.1系統	PQ.2.8.1系統	1

注）解析日時点のLineageで記載しています。

（参考）WHOによる変異株のリスク評価ごとの分類 （2026年3月12日時点）

懸念される 変異株 (Variants of Concern : VOC)	主に感染性や重篤度が増 す・ワクチン効果が減弱するな ど、性質が変化した可能性が 明らかな株	該当なし
注目すべき 変異株 (Variants of Interest : VOI)	主に感染性や重篤度・ワクチ ン効果などに影響を与える可 能性が示唆されるかつ国内 侵入・増加するリスク等がある 株	JN.1
監視下の 変異株 (Variants under Monitoring : VUM)	主に感染性や重篤度・ワクチ ン効果などに影響を与える可 能性が示唆される又は VOC/VOIに分類されたもの で世界的に検出数が著しく減 少等している株	KP.3.3.1 NB.1.8.1 XFG BA.3.2

<https://www.who.int/activities/tracking-SARS-CoV-2-variants>

全国の新型コロナウイルス感染症ゲノム解析結果

全国のゲノム解析結果は「[急性呼吸器感染症（ARI）（外部リンク）](#)」をご覧ください